



# Japanese Linguistics

## 日本語学専修

日本語学専修は、現代日本語学、社会言語学、応用日本語学の三つの領域の教育・研究を行っています。

現代日本語学では、日本語を数ある言語の一つとして客観的に捉え、実証的に、文法・語彙・音韻・表記等の体系を明らかにすることを目的としています。

社会言語学では、地域差（方言）・年齢差や場面による言葉の違いなど、現代社会に存在する日本語の多様性と、それがもたらす言語学的・社会的な問題を把握し、分析します。

応用日本語学では、日本語を母語や第二言語として習得する人たちが、どのようにして期待される発話行為を行い、その中で自分らしさを構築していくのかを、まわりの人々の関わりかたにも注目しながら考えます。

### ことばとその使い手に関心のある方へ

日常生活で抱く日本語についての疑問・日本語の使い手に対する興味・ことばを学ぶ人への共感や気づきを研究へと育てていくことの楽しさを、ぜひ実感してください。

### 日本語学専修がめざすもの

日本語をめぐる諸問題に対するさまざまな角度からの研究アプローチを自分のものとし、日本語の体系や運用、習得の実態について追究する力をつけてほしいと思っています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/nihongogaku/>

## 教員

石井正彦 教授	いし・まさひこ
渋谷勝己 教授	しぶや・かつみ
田野村忠温 教授	たのむら・ただはる
Matthew Burdelski 教授	マシュー・バーデルスキー
三宅知宏 教授	みやけ・ともひろ
高木千恵 准教授	たかぎ・ちえ

## どんな授業があるの？

### 【講義題目】

日本語文法研究の基礎、探索的データ解析による日本語研究、言語分析の諸問題、接触言語学概説、社会言語学、言語とジェンダー

### 【演習題目】

現代日本語研究の諸問題、批判的コーパス語彙研究の実践、語用論、社会言語学の展開、言語・方言記述の実践、会話分析

## 何を学んでいるの？

### 日本語文法研究の基礎

日本語の文法に関する基礎的な事柄を学び、日本語がどのような言語であるのかということについて理解を深めます。また同時に、日本語を研究するための基盤を身に付けます。

### 日本語基本語彙論

日本語の基本語彙について、これまでの重要な先行研究と、近年新たな視点から行われている研究の成果を紹介、講読しながら、総合的な検討、整理を行います。

### 社会言語学概説

ことばの地域差、年齢差などを中心に、ことばと社会の関わりを考える社会言語学の研究領域について学び、自らテーマを設定して調査研究を行えるためのスキルの習得を目指します。

### 言語分析の諸問題

日本語を主たる対象とし、言語現象の分析に用いる資料とその諸問題について多角的に考察します。電子媒体の言語資料（コーパス）の可能性の検討に力点を置きます。

## 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

### 大学生の自然会話における評価表現—「やばい」に着目して—

若者が日常生活でよく使う「やばい」という評価表現を分析したもの。友人同士の会話で「やばい」が使われるときのバラ言語的要素、ターン、連鎖などに着目し、仲間意識や連帯感等を強める重要なリソースであることが明らかになった。（選：マシュー・バーデルスキー 教授）

### Twitterに見られる副詞的表現「無限に」について

「無限にかわいい」のような、主として形容詞類を修飾する「無限に」の用法について分析した論文。Twitter上のことばを対象にしたことで他のデータにない用例を集めることができ、「無限に」の程度副詞としての用法が実証的に明らかになった。（選：高木千恵 准教授）

### 【卒業論文題目】

現代日本語における「すぎる」の用法について  
関西出身の友人同士の会話における「な」の使用  
関西方言の終助詞「ワ」のコミュニケーション機能について  
京都方言「ハル」の談話上の機能について  
視覚翻訳における異文化要素  
非動作性名詞のサ変動詞語幹化用法の意味と特徴  
会話におけるスピーチスタイルシフト





当たり前の中にふだん意識しない真実が潜むことを明らかにしていきます。

#### なぜ、日本語学講座を選んだの？

- ★一般教養の日本語学基礎が面白かったから。
- ★研究室訪問のとき、卒論・修論のテーマ一覧を見て身近な疑問を題材にして面白かったから。
- ★日本学棟は薄暗いけど、研究室があたたかい雰囲気だったから。
- ★日本語そのものの仕組みや社会の中での使われ方などに興味があり、より深く学びたいと思ったから。
- ★もともと方言研究に興味があり、阪大の日本語学講座は方言学分野に強みがあると聞いていたから。
- ★もともとことばに興味がありました。英語学と迷いましたが、自身の経験から来た疑問について考えられる点に惹かれたから。
- ★高校生の時、自分が話すことばと他の人が話すことばが違うことに漠然と興味を抱いたから。

#### 日本語学講座・日本語学の魅力・面白と思うところは？

- ★学部生から院生まで垣根を超えて意見を出し合えるところ。
- ★「日本語」に関するものであれば、さまざまな分野から学べるところ。
- ★研究室の行事が多くないので、自分のペースで自由にできるところ。
- ★自分が普段何気なく使っていることばについていろいろ学べるので面白い！
- ★自分が知っているようで知らなかったことや気づいていなかったことについて研究できるところ。
- ★母語としてずっと使ってきたのに気づいていなかった法則などが分かる感動する。
- ★個性あふれる先生方のキャラクター。
- ★日常会話でも気になることがたくさん出てきて、刺激あふれる日常生活が過ごせる。
- ★データを扱うので、ちょっと自然科学っぽい。
- ★アンテナさえあればテーマが無数にある。

#### どんな授業があるの？

- ★日本語学の基礎をきっちり教えてくださる授業や、コント映像を分析したり新聞の語彙を調査したりする実践的な授業などさまざまあります。
- ★文法・語彙・会話分析などさまざまだが、身の回りの具体例を挙げつつ授業を行うので学ぶ内容を身近に感じられる。
- ★グループワークがあれば個人発表もあり、いろいろなことが学べる。



#### おすすめの授業は？

- ★全部!!
- ★やっぱり演習が楽しいです。「何」を「なに」と読むときと「なん」と読むときの違いを数回に亘って考えたのが楽しかったです。
- ★方言を研究したり、日常会話の録音からことばの機能や効果を探ったり、文法を見直したりとかなり幅があります。

学生  
インタビュー

#### 研究室はどんな雰囲気なの？

- ★学部生から院生までさまざまな学年の方が同じ部屋を使っているので、学年の壁がなく和気藹々とした雰囲気です。
- ★和やかでアットホームな雰囲気。
- ★学年問わず仲が良い、真面目な人が多い。
- ★自由。外国籍の方も多いため、いろいろな話ができる。
- ★建物はずっと暗いけど、研究室は明るい雰囲気(笑)。
- ★幅広い興味・分野に寛容。
- ★困っていたら、みんなが助けてくれる。
- ★先生に質問しやすく、程良い距離感で楽しい。
- ★留学生の方も多く、国際色豊か。

#### 日本語学講座を一言で言うときズバリどんな講座？

- ★自由！
- ★何でもできる場所。研究内容はもちろん、方法も自分で決められるので考える力が身に付く。
- ★知れば知るほど面白く感じる。
- ★考えることをやめない人たちの集まり。
- ★マイペースに研究
- ★気づき
- ★日本語を再発見できる。
- ★胸が高鳴る！

#### 後輩・高校生へメッセージをお願いします。

- ★ことばに対する何気ない疑問について、とことん考えて答えを見つけれられる講座です。
- ★現代日本語であれば大体のことは研究できるので、気になることがあれば、ぜひ一度のぞいてみてください。
- ★今まで考えたこともなかったこと、知らなかった視点を知ることができるのは大学ならではの、とても楽しいですよ！
- ★日本語(言語)に少しでも興味があれば、必ずやりたいことが見られるかと思っています。ぜひ来てください！
- ★普段目にしていない耳にしている日本語すべてが研究対象になり得る分野です!!
- ★普段当たり前に使っていることばにほんの少しでも疑問を持っている人には絶対におすすめです。

[講座紹介協力者]

3年：13名、4年：4名、博士前期課程：8名、博士後期課程：1名